

第8回災害対策本部での主な知事の発言

- 発災から4日目に入り、現時点（午前10時30分）時点で、お亡くなりになった方は計78名となった。
- 発災以来、人命救助最優先で取り組んでいるが、依然として多くの安否不明者が存在している。
- 効率的な搜索や救助活動を行うには、安否不明者の氏名等を公表することで、真に救助を必要とする方を絞り込むことが必要不可欠と判断し、

昨夜（1月3日）23時、「石川県災害時における安否不明者等の氏名等公表基準」を初めて適用し、安否不明者の氏名、住所、性別、年齢を公表した。順次、更新している。
- 本日の16時、あと6時間余りで、要救助者の生存率が急激に低下すると言われる「72時間の壁」を迎える。自衛隊、消防、海上保安庁、警察など、最大限の協力をいただきたい。
- 今日が人命救助の山場である。人命救助最優先で対応するとともに、物資の支援、道路・電気・通信などのインフラ確保に最大限の対応をお願いしたい。
- 特に、未だに孤立状態となっている外浦沿い等の集落については、引き続き、空路、海路もフル活用し、全力で救助にあたって欲しい。
- 加えて、物資が足りないとの声が多く、プッシュ型での

支援が必要である。

- 現在、全国各地から沢山の物資が届いてきており、これらを、どこに、どれだけ届けるかを、しっかり整理し、迅速に対応していくことが極めて重要である。
- 県側、政府側の物資支援チームを統合し、連携を強化して、統一的に対応していくこととした。
- また、長期間の避難生活となってきた。避難所での健康管理にも配慮をお願いしたい。国に派遣依頼している保健師や今後派遣予定のJMATの支援も効果的に活用して欲しい。
- 仮設住宅の準備、さらにその前段階として、被災地以外でのホテルや旅館での受け入れについての検討を、至急お願いしたい。
- 被災者生活再建支援制度の適用、大量の災害廃棄物の処理なども、市町等と連携して作業を進めていく必要がある。
- 本日から県での義援金の受付も開始する。
- やるべきことが山積している。国、県、市町、NPO等のボランティア団体、関係機関との情報共有、協力が必要不可欠であり、役割分担・作業を整理しながら、しっかり連携して対応して、それぞれ対応にあたって欲しい。
- 県民の皆様に対して、積極的に、分かりやすい情報提供を、是非お願いしたい。